



**所長コメント** この夏にバリ島へ行ってきました。直行便のチケットが取れず、シンガポール経由だったので、行きも帰りも1日仕事でした。私の複数の友達が、「バリはいいぞ!」と再々出かけるので、行ってみました。赤道ほぼ近くの南半球にあるのに、日本より過ごしやすかったです。ヒンズー教の寺院がやたら多く、祭りの期間だったせいか、軒先に鮮やかな幟が旗めいていました。現地のタクシーの運転手が、インドネシア=インド+ポリネシアだと言ったのもうなずけます。近年は職を求めて、観光で潤うバリ島にイスラム教の人も随分と入り込んでいるようです。日本人、白人（オーストラリアが白人では最も多い）の観光客が多く、最近急激に増えてきたのはやはり中国人です。 写真: 左: ライステラス（棚田） 右: 夕暮れに掛けて行われる地元の民族舞踊

## 社長の仕事 税理士 大場史郎

### どうする人手不足?

人手不足が一段と深刻になっている。9月3日の日経新聞によると、「7月の有効求人倍率1.21倍と、23年5か月ぶりの高水準となった。」とある。

先日来られた型枠工事をする会社の社長さん。試算表の広告宣伝費が前年に比べて大幅に増えている。「これは、求人広告の費用ですか?」

「お金をかけても、電話一本かかってこない」と嘆かれていた。

建設業、飲食業は特に深刻なようだ。

この会社の社長さんは今度フィリピン人を技能研修生として、採用してみるとのことだ。そのためフィリピンまで面接に行かれた。うまくはまればいいのだが。

当社の関与先でも中国人の技能研修生を採用して、新聞沙汰になるような事件に巻き込まれた会社もあった。

最近、近所のスーパーに行くとき、パートの主婦に代わって、定年退職したような男性が舞いかけをかけて、商品の品ぞろえやレジで働いている。

生産年齢人口（15～64歳）の減少、増える高齢者（今月のトレンドのグラフ参照）、今後はこの世代を上手に使っていかないと事業が成り立たなくなるのではないかと?

それと、現在いる社員をやめないうようにすることが、もっと大切なことではないか。

不平不満を言わずに働いてくれる社員は貴重な戦力、いや、かけがいのない**人財**ですよ。

### 人手不足が顕著な主な業種

保安	4.92倍	輸送 運転	1.68
建設	2.83	販売	1.46
サービス	2.40	農林漁業	1.15
7月求人倍率1.21倍			